

# 第15代高校生平和大使 平和の旅

国連欧州本部訪問 2012/8/19~23

第15代高校生平和大使平和の旅の目的

- ① 国連に高校生 1 万人署名を届けるとともに、核兵器の廃絶と世界平和を願う長崎・広島・日本の市民のメッセージを、国連訪問などを通じて世界に発信する。
- ② 東日本大震災・福島原発事故の現状を報告し、国際的な支援への感謝のメッセージを発するとともに、今後の支援の要請、国際協力・国際連帯の基盤をつくる。
- ③ 核兵器廃絶へ向けての国際的な機運を作り上げる。

15 年めとなる今年は、長崎・佐賀・福岡・熊本・大分・広島・静岡・神奈川・東京・福島・岩手から 16 名、在ブラジル被爆者平和協会があるブラジル・サンパウロ市から 2 名の高校生平和大使と、高校生使節団として参加した 2 名の高校生を含め、合計 20 名の高校生での訪欧になりました。昨年は 3.11 東日本大震災を機に、国際社会への支援の要請と感謝の気持ちを伝えるため、被災地岩手県から 2 名の高校生平和大使を派遣しました。今年は、岩手県釜石市・陸前高田市に加え、原発事故が未だ終息していない福島県南相馬市からも高校生平和大使を派遣しました。



第15代高校生平和大使 旅程

|       |                           |
|-------|---------------------------|
| 8月19日 | スイス・ジュネーブ到着               |
| 8月20日 | UN I 本部 世界YWCA訪問交流        |
| 8月21日 | 軍縮会議日本政府代表部訪問 国連欧州本部軍縮局訪問 |
| 8月22日 | ベルン市で高校生 1 万人署名活動         |
| 8月23日 | 帰国                        |

## 国連欧州本部軍縮局訪問

8月21日、午前中軍縮会議日本代表部を訪問し、天野万利軍縮大使と懇談のあと、いよいよ国際連合欧州本部に向かいました。

2時、サレバ国連欧州軍縮局長と面会、20人の高校生全員で核兵器の廃絶と平和な世界の実現を求める約25分のスピーチを行いました。被災地の平和大使は、被災によって平和がいかに不安定なものかを知ったこと、だからこそ平和を人間の手で壊すような核兵器や戦争、原発事故は許されないと訴えました。スピーチの後、サレバ軍縮局長に過去最高となる155,002筆の署名簿を手渡しました。



サレバ国連欧州軍縮局長のことは

「核時代の中で、世界全体で安全を保つという必要性が大きくなっています。そのような中で、皆さま方のような若者の動きは大きい意味があります。毎年国連に署名を持ってきてくださる行動に敬意を払います。今年の155,002筆という署名数は、まさに皆さまの努力によるものであることは確かです。皆さまのメッセージは確実に国連を通して世界中に広がっていると確信しています。」

3時、軍縮会議傍聴

軍縮会議冒頭、天野万利軍縮会議日本代表部全権大使が発言し、次のように述べられました。

「2週間前の私の声明において、次世代に核兵器の本質を正確に伝えていく必要が多分に重要なことをお伝えしました。(中略) 自主的にこのような活動をしている高校生平和大使のような若者に会う時、私はとても勇気づけられます。私は、核兵器のない平和な世界へ向けての活動への情熱が世界中に広がることを願っています。」

天野大使の発言のあと、エジプト大使から支持発言がありました。これまで、議長が会議冒頭に高校生平和大使の訪問を紹介したことはありますが、軍縮会議の議論として高校生平和大使が語られたことは初めてです。天野大使の発言は、高校生平和大使の活動の意義を世界に知らしめるものとなりました。



天野大使の紹介に、起立して応える高校生平和大使

## 国連欧州本部常設原爆展

2011年11月、国連欧州本部に常設原爆展が設置されました。原爆展には被爆した遺物とともに、高校生1万人署名簿の一部と毎年贈っている千羽鶴が展示されています。署名簿は、軍縮会議場に続く軍縮局オフィス前の廊下にも展示保管されています。



### スイスの首都ベルンでの街頭署名活動

22日、世界遺産の街ベルンに移動し、昨年引き続き街頭署名活動を行いました。ベルンはドイツ語圏ですが、道行く人に一生懸命話しかけ、核兵器の廃絶と平和な世界の実現をめざす高校生1万人署名の趣旨を説明しました。また、署名と同時に東日本大震災被災地への応援メッセージカードもお願いしました。ベルンは観光客も多く、さまざまな国の人たちが署名に応じてくれました。約1時間の活動で、117名分の署名と63枚のメッセージカードが集まりました。



### 帰国報告会

23日帰国、スイスで別れたブラジルの高校生を除く18名全員が長崎に向かいました。翌24日、長崎で帰国報告会を行い、今回の平和の旅の成果と課題を報告して、第15代高校生平和大使平和の旅を終了しました。



「ピリョクだけどもリョクじゃない！」というスローガンを実感することができた第15代高校生平和大使の平和の旅でした。

第15代高校生平和大使の活動はこれで終わりではありません。核兵器廃絶と平和な世界の実現へ向け、各地で今回の旅の成果を拡げる活動を行います。むしろ、これからが本番。高校生平和大使として平和の種まきをするという本当の仕事が始まります。